

ゴルフ会優勝者寄稿

第51回ゴルフ会優勝

大石 昭彦

(青森県出身／昭和48年高校卒)

まずは優勝できたことを素直に喜び感謝いたします。

友人の石川さん(S36A)、幹事の皆さん、同組メンバーの生駒さん・嵯峨さん、その節は本当に有難うございました。持ち回りトロフィーを預かりまして、改めて喜びを噛みしめているところです。

当日のゴルフは、雨と水溜まりとの戦いでしたが、普段ダブリ屋の私にとってはそれが好都合でした。何と言ってもアイアンの抜けが良くソールが走りました。グリーン上においては、いつもオーバー気味のパターが転がりを抑えてナイスタッチだったように思えます。自然現象を味方につけての結果でした。1オーバーでしたが、ハンディにも恵まれたことは承知しております。

第48回より参加(50回目欠席)させて頂いておりますが、いずれの回も記憶に留めるほどのスコアではありません。ゴルフはお付き合い程度にしか考えていない私は、ほとんど練習はしませんでした。他人のスイングを見ると「いいなあ」とは感じますが、だからと言って自分のスイングを変えようとか直そうとかは一切思いません。“勝負は時の運”が信条の私は、自然を味方にしたこの結果に満足していました。が、その反面ふつふつと沸き立つ虚しさも覚えました。ゴルフコンペを愛して、一生懸命な方々に対して、私のこの取り組む姿勢は失礼で申し訳ありません。

年が明けて平成29年2月12日、遅い初打ちをしました。結果は前半61、後半53の114。何ということだ。昨年の取り組み姿勢の悪さを思い出しました。いつもなら114は「まあいいよ」で終わるところです。でも今年は違うぞ！心機一転、先ず道具を変えようと、新作ドライバーを購入しました(アイアンはまだ迷っている)。いつもの私ならここまでで終わりでしたが、今は打ち放し場に通い練習しています。特訓方法は打席場内を見回し、上手そうな人の隣の席に陣取り、頃合いをみて話しかけたりしてアドバイスなどを貰っています。プレー前後の心構えやストレッチまで教えてくれる親切な方がいるものです。お陰で現在たまにいいショットが出るようになりました。今3月半ば、次回第52回秋工コンペに向けて着々と・・・。果たしていつまで続くのやら。神のみぞ知る。

遅くなりましたが、私を友人としてゲスト参加に導いてくださった、石川洋治さんとの関係について触れたいと思います。昭和55年、私が25歳の時に立身出世を夢見て上京しました。

私の勤め先の会社への出入り業者が、測量会社社長の石川さんでした。それから5年ほど後、私が工務店として独立した頃より、行事・会合等でお会いする機会が多くなり急接近することになりました。相談事をしたり、ゼネコンを紹介して頂いたりと数え切れないほどの御指導・御鞭撻を頂きました。温厚で実直、信念を曲げない石川さんの声をいつも受け止めました。12年後の38歳の時に、夢にも思っていなかったゴルフを始めました。しかし前にも述べた通りさほどはまることもありませんでした。けれどゴルフをすることで石川さんがより近くになりました。あの頃の石川さんは良く飛んでいました。測量屋だからラインを読むの



第52回ゴルフ会優勝

小坂 正行

(昭和32年機械科卒)

腰痛で出場を控えていたら秋工会ゴルフコンペに途中棄権の不安を抱えながら、久々に参加させていただきました。

私はゴルフを始めてから40年以上になります。練習場とコースに熱心に通った甲斐があって、長い間人並みのスコアでゴルフを楽しんできました。ところが、70歳を過ぎた頃から急に球が飛ばなくなり、飛ばそうとして力んで無茶振りを続けた結果、コースではダフリ・トップ・OBの頻発でビギナー顔負けの情けないスコアが続いておりました。

「下手なゴルフほど楽しみの多いものはない」とは言うものの、あまりにも惨めなスコアが続くと、楽しみどころかゴルフは苦しみの多いものとなってしまいます。

無駄な努力を長い間続けた末、80にならって力んで無茶振りをしても、飛距離アップはおろか腰を痛めるのが鬱陶しい山と気付き、心ならずもゆっくりした方向性重視のスイングを計り、若干の不満を残しつつも、尺取虫の老人ゴルフを楽しむようになりました。球を曲げないことだけを心掛けた尺取虫の優勝は、参加することだけに意義のあった老人にかかる希望を与えてくれました。

この度の私の優勝は、カートの使用など優遇措置のお陰で、素直に喜べないところもありますが、これからも下手なゴルフを楽しみ続けたいと思っております。



が巧く、パターの名手と呼ばれていました。彼は未熟な私にゴルフも色々教えて下さいましたが、数年前に現役を引退するとのことを聞きました。一介の職人時代から多岐にわたりお世話をってきた方の引退に際し、私は自社の資材センターにユニットハウスの『石川ルーム』を用意しました。時々は顔を見せて欲しい、遊びに来て欲しいとの願いに石川さんは見事にはまって下さり、月に何回かは『石川ルーム』に足を運びくつろいで下さっています。最近は体調がおもわしくないとのことで心配しております。石川さんは以上の如きの関係で、私は師と仰いでおります。

ある日、石川さんが秋工会会報を差し出し、「今度48回目のコンペに参加しないか？」と誘って下さいました。勿論二つ返事で了解しました。初参加の折は、秋工会の皆様より暖かく迎え入れて頂いたと思っております。初参加のパーティで、テーブルの上が秋田県のお酒や産物で賑わい、賞品までもが秋田の名産だったことには、故郷をこよなく愛し仲間想いでとても懐の深い方々の会であることに感銘を受けました。

このような素晴らしい会に誘って下さった石川さんの罪はとても大きいでしょう。なぜなら62歳にしてゴルフを一生懸命やるはめになってしまったからです。石川さんに付いていきます。

最後になりましたが、会長はじめ、役員・幹事・会員の皆様の益々の御発展と御健勝を祈念し感謝と御礼を込めて優勝の挨拶と致します。



建築・土木型枠大工工事一式／東京都知事許可 第101169号

株式会社 大石建設

代表取締役
大石 昭彦
東京秋工会ゴルフ同好会
石川洋治氏(S36A)友人

〒133-0056 東京都江戸川区南小岩1-3-13
TEL.03(5622)2205 FAX.03(5622)2206
置場 043(286)1231
携帯 090-5515-2313
E-mail. ohishi-kensetu@walz.ocn.ne.jp